

社会福祉法人いきいき福祉会  
2024 年度 いきいき福祉会 法人事業報告

2025 年 5 月 26 日 理事会

2025 年 6 月 18 日 評議員会

はじめに

東京商工リサーチによる介護事業所倒産件数が過去最高と報告されました。背景には 2024 年度介護報酬改定により、全国の訪問介護事業所は大打撃を受け、事業運営に直結する数々の物価高騰等の煽りを受け、そこに人材不足による訪問件数等の減少から大変厳しい事業運営となっています。利用者の状況は居宅支援事業所と同じく、新規・中止件数の回転が著しいのが実情です。その実態として、在宅限界生活のから施設入所までの期間限定を訪問介護で支える。また訪問介護により在宅での最低生活を維持しつつも、結果的には施設入所に至るケース。更には在宅生活（療養）のなか、やっと訪問介護が開始されたかと思いきや、間もなく入所・入院により短期間で終了する流れが殆どです。家族関係の希薄さ・経済的困難さや孤立等の社会的変化により、介護保険サービスを利用する世代では「利用控え」の影響も想定されます。私たちはこうした方々への支援の困難さやその有り様等も問われており、介護の専門職としての力量・質が問われています。

また、フードバンク八王子えがおと連携したフードバンクやフードパントリーの取り組みは、間もなく丸 3 年を迎えます。2024 年度フードパントリーの利用者は 2023 年度利用件数の倍加となりました。疾病による離職・就職困難をはじめ、メンタル疾患を抱える方々が大変多く存在している状況です。2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行により「過去の話」ではなく、フードパントリーの利用者・介護事業者の私たちに於いても、炙り出された社会の様子・生きにくい世の中・人との関係性等々、問題は弱者に向かっている事を痛感します。このような公益的取り組みや介護事業を通し見えてきた問題や課題を私たちは介護ウェブの活動を通し、訴え続けていく事が重要です。

私たちは、さまざまな厳しさを抱えつつも、2024 年度も全役職員は事業計画実践と「その人らしいケア」に向けて奮闘してきました。相互理解・相互支援に向け、異なる価値観を持つ者同士が、どのように共通する目標に向け取り組んでいくか。法人教育委員会でも議論を継続し、3 月末にこうした取り組み事例発表会を開催しました。オリジナリティー溢れる各事業所からの発表は、それぞれの個性そのものです。感想には「他事業所を知る」「交流」「他事業所の研修」等、交流と交流によるスキルアップ等への期待が寄せられていました。こうした職員の声大切に、次の活動へのヒントとして声が活きる事業活動を目指していきます。

最後に、各事業所は職員体制が徐々に変化していく過渡期に突入しています。さまざまな変化が生じる事が十分想定されます。「変化が付き物」である事の理解を踏まえ、法人・事業所が大切にしている理念の実践を常に意識しながら、この過渡期を確実な実践に向けて取り組んでいきましょう。

## I. 法人及び実施する事業の概要（追加・変更なし）

### 1) 第二種社会福祉事業及び利用者の定員

・グループホームこまくさの家	定員	18 人
・グループホームこまくさの家・長房	定員	18 人
・デイサービスセンターかっちゃんの家	定員	10 人
・ヘルパーステーションいきいき	管理数平均	157 人

### 2) 公益事業及び利用者の定員

・ケアプランセンターいきいき	管理数平均	234 人
（地域包括支援センター業務委託・予防給付件数）		48 人

### 3) 事業所職員状況（2025 年 3 月 31 日現在）

- ・常勤職員数： 25 人、非常勤職員： 81 人（うち登録ヘルパー：25 人）
- ・入職者：常勤 2 人、非常勤職員 6 人、登録ヘルパー 3 人・常用ヘルパー1 人
- ・入職者の経路：職業能力開発センター、知人・友人関係、ホームページを見て等
- ・退職者：7 人（石川 2 人、長房 0 人、かっちゃんの家 0 人、ヘルパーST 5 人（うちヘルパー4 人）
- ・退職の理由：自己都合退職、高齢（70 歳以上 2 人）

#### <職員平均年齢>

- ・常勤職員：53.72 才
- ・非常勤職員：61.81 才（うち登録ヘルパー平均年齢 65.58 才）

### 4) 職員確保の取り組み

- ・法人ホームページ、ハローワーク、都立多摩職業能力開発センター八王子校、退職者へのコンタクト

### 5) 有給休暇取得状況：全職員 有給休暇消化率 平均 90.4%(前期 80.8%)

- ・常勤職員 消化率 97.7 %（前期 79.0%）
- ・非常勤職員 消化率 118.0 %（前期 80.1%）
- ・登録ヘルパー 消化率 74.0 %（前期 82.9%）
- ・全職員有給休暇消化率 98.8 %（前期 90.4%）

### 6) 法令遵守・業務改善に関する取り組み

- ・管理者会議（役職者会議含む）にて事業計画や予算実践・経営管理・法令遵守等を実施。感染対策委員会も兼ねる
- ・全事業所 感染及び災害における BCP 見直し・改定。可搬型蓄電池補助金により購入。
- ・高齢者虐待防止学習：「虐待の目チェックリスト」全事業所で実施。
- ・安全委員会：毎月開催 各事業所インシデント・事故報告 情報共有・対策検討

- ・身体拘束適正化委員会、高齢者虐待防止委員会の定期的開催
- ・介護事業所の加算関連を介護の質と捉え、取得可能なものは積極的に加算取得へ
- ・情報公表への取り組み
- ・第三者評価実施：こまくさの家、こまくさの家・長房
- ・2024 年介護報酬改定に伴い運営規定等・全事業所改定
- ・個人情報保護改定し、毎年職員の個人情報保護を更新へ

7) 就業規則・労務関係：働きやすい職場づくりに向け検討・具体化を行った

- ・介護職員・第 4 の新設加算に伴う改訂：常勤は 5,000 円・非常勤職員は時給 30 円増額  
対象外事業所（ケアプランセンター・本部）も対応を同じくする事を確認した。
- ・主任ケアマネ手当新設：5,000 円/月
- ・夜勤手当の改定：5,000 円
- ・有給休暇における「時間有休取得」を導入初年度として 2 日間を位置づけ実施した。

8) 事業所管理運営：定例管理者会議、役職者会議を年間予定に基づき開催（月 1 回基本開催）

各事業所職場会議前に事業所管理者と打ち合わせを実施

グループホーム入居者判定会議開催

入居者・利用者対応困難ケースのケース検討

育成面談実施他

医療連携の強化に向け懇談会の開催（日常的連携の強化に向けて等、相談へ）

9) 理事会開催：2024 年 5 月 27 日、7 月 22 日、9 月 30 日、11 月 7 日、2025 年 1 月 27 日、  
2025 年 3 月 17 日

評議員会開催：2024 年 6 月 19 日、11 月 15 日、2025 年 3 月 26 日

※法人指導監査：2025 年 2 月 25 日

10) 社会福祉法人の公益的取り組み

- ・介護よろず相談所：法人 7 件、事業所 1 件 法人 HP「問い合わせフォーム」利用者有り  
GH 入所・施設入所・生活相談・介護保険サービス利用について等  
高齢・単身・独居の親の介護相談（家族は海外在住）

- ・フードパントリー：「NPO 法人フードバンク八王子えがお」連携継続中

2024 年度利用対応数：222 件（性別：男性 140 名、女性： 82 名

フードドライブ支援：年間 87Kg

<利用者の特徴>

殆どが単身生活者・メンタル疾患・負債あり・コロナ禍での離職や減収・家族疎遠

経済的理由により医療受診継続出来ず自分・認知症の母親の体調不良あり（診療所へ相談）

## 11) 法人長期計画完成

法人理事会・評議員会を経て、法人中長期計画が完成した。

- ① 特に 2024 年度は補助金事業によるこまくさの家・長房の大規模改修工事（屋上防水・外壁・植え込み型の空調・換気）の工事が完了した。補助金事業対象外工事として発生した自動水栓（水湯混栓）や伸縮式門扉交換等は施設設備等積立金により対処した。
- ② 加えて 2025 年 4 月末までのこまくさの家（石川）の定期建物賃貸借契約を期間延長に向け交渉を行い、2035 年 4 月末日まで 10 年間契約延長を行う事とした。
- ③ また 2025 年 4 月度ヘルパーステーションいきいき・ケアプランセンターいきいきの東日本銀行借入金の繰上げ返済を行うものとした。
- ④ 補助金事業対象事業所のこまくさの家・長房は維持管理費の収支に於いて大きな乖離があり、八王子市・東京都へ相談し 2025 年 7 月度より値上げとなる。同時に新設「修繕積立金」が開始となる。

さまざまに発生が想定される施設設備関連更新に関わる費用は、基本的には施設設備等積立金に於いて対処していく方針実践により備えを万全にしていく。特に、こまくさの家・長房は約 10 年後施設工事全般に向けて、更に内部の手入れ等含めて計画的な積立てが必須である。その他、事業所に於いても同様の立場で実施していく事が求められる。

## 12) その他

### ①新型コロナウイルス感染症への取り組み：法人指針継続作成 → 休業事業所は無

- ・必要に応じ抗原検査実施（東京都対応）
- ・役職者 LINE による緊急情報発信にてリアルデータでの注意喚起、感染対策 BCP 見直しへ。  
特に大雪・大雨（台風）等の影響による事業活動の判断については、役職者 LINE にて災害予測情報含めて情報共有し、安全性を確保しながら事業運営に努めていた。
- ・ケアプランセンターいきいきでの在宅勤務に関しては、5 類移行により終了した。
- ・公益財団法人 JKA（競輪）補助金によるサーマルカメラ・サーキュレーター等を継続利用中。

### ②情報発信

- ・法人ホームページによる介護よろず相談：問い合わせフォーム～返信にて相談対応へ
- ・各事業所はホームページ「お知らせ」を 2 か月毎に更新へ。利用者の方々の行事参加をはじめ、施設からの便り等も情報発信として行っている。
- ・法人ホームページへ採用の相談等も発生し、返信～ご相談というケースあり。
- ・事業所からのお知らせ発信により、サービス利用のご家族も実情把握に向け有効とのご意見が聞かれる。

### ③他法人との連携：生活困窮者支援、障害福祉への関わりと支援

- ・市内社福法人マインド八王子：就労支援 B 型ディープフォレスト（パン）  
各事業所注文と配達
- ・フードバンク八王子えがお：フードドライブ＆フードパントリー
- ・NPO 法人なみき福祉会：就労支援 B 型製菓・キルト作品 月 1 回販売会  
こまくさの家、こまくさの家・長房に製菓販売

#### ④法人外等研修への参加

- ・東京民医連主催介護を担う職責者研修フォローアップ研修：2名
- ・東京民医連主催：介護事業所法令遵守学習会：6名
- ・東京民医連主催：介護事業所経営検討会：10名
- ・三多摩ブロック主催：ケアマネ学習会
- ・居宅支援事業所：八王子介護事業所連絡会理事・メンバー参加
- ・原水爆禁止世界大会 2024：ヘルパーステーションいきいきより1名選出
- ・全日本介護事業所責任者会議：1名
- ・その他

## Ⅱ. 各事業所の活動報告

### ① こまくさの家

月平均利用件数：17.07人、月平均入居実日数：519.2日、平均介護度：2.31、平均日当円 11,076円

### ② こまくさの家・長房

月平均利用件数：17.66人、月平均入居実日数：537日、平均介護度：1.99、平均日当円 10,767円

### ③ デイサービスかつちゃんの家：

平均利用件数：7.71人、月平均利用回数：200回、平均介護度：2.0、平均日当円 10,552円

### ④ ヘルパーステーションいきいき：特定Ⅱ

常勤換算：12.78人、月平均利用件数：157件、月平均介護利用時間：1,083時間、  
平均介護 107件 ・総合 26件 ・自立支援 24.3件

### ⑤ ケアプランセンターいきいき：特定Ⅱ

介護件当円：17,540円

常勤換算：6.8人、月平均管理件数：288件、月平均介護件数：234件・予防件数：48件

以上